

第2回幹事会

日時 2021年11月27日 20時～

場所 オンライン（zoomを利用）

議題

1. SPU 設置に係る奇蹄類の改正・制定
2. アンチ・ドーピングに係るインカレ実施規則の改正
3. 2020年度決算報告・2021年度中間報告
4. 新規地図作成事業第9弾茨城大大会の今後の展開
5. 新規地図作成事業第11弾矢板山田
6. 今後の幹事会の動き
7. 各部局活動報告
8. 地区学連活動報告
9. 理事会報告

1. SPU 設置に係る規定類の改正・制定

若月 前回の臨時幹事会で遠藤氏より説明いただいた内容。正式な承認を明日の総会で得たい。

-変更点の説明-

連盟規約

第10章 委員会 第48条 常設委員会(4) にインカレ SPU を追記

細則（前回の幹事会で承認済み）

第9条 施行

施行日を前回幹事会による承認から明日の総会による承認後に変更

遠藤 SPUの立ち位置について補足する。SPUの本来の目的は「テレインコントロールワーキンググループ」の復活。具体的にはインカレ企画の下準備を担うことであり、SPUはこれを行うだけでインカレが回っていくことが理想である。本来の意図として、この組織はインカレの枠組みを考えるような組織ではないということは認識いただきたい。インカレの枠組みを決めるのはこれまでもこれからも幹事会の仕事である。今後インカレを持続可能な形で開催するための枠組みは、幹事会で決めていってほしい。SPUはその枠組みに則って活動するものである。

若月 以上に対して質問等ないので、明日の総会にて議題として挙げる。お話しいただいたように、今後インカレをどうしていくべきかは我々感じで話し合っていかなければ

ばならない。

2. アンチ・ドーピングに係るインカレ実施規則の改正

若月 アンチ・ドーピング委員会から提案いただいている、実施規則の改正について。総会での承認を行う案件だが、それに先立って幹事の皆さまにご確認いただきたい。

現状は実際のドーピング検査の実態とインカレ実施規則の間に乖離があり、毎回規則からの逸脱事項となっていた。今回の改正で実態に即したものにす。

西嶋 アンチ・ドーピング委員会の西嶋です。中止となった昨年度のインカレミドルから、11 項にある「アンチ・ドーピング研修」として e ラーニングを受講していただいている。以前の規則では JADA(日本アンチ・ドーピング機構)のルールと反していたため今回変更させていただいた。

金澤 細かい点だが、変更前の条文は第 27 条となっているが改正後の条文では第 25 条となっている。この点は間違いないか。

若月 今回の改正にあたり以前廃止された条文の欄の削除も行った。そのため番号がずれているが、内容に相違はない。

若月 実施規則の改正は総会の議決によるとあるので、明日の総会にて議題として提出する。

3. 2020 年度決算報告・2021 年度中間報告

会計の中野から説明

-2021 年度中間報告-

2021 年度の会計については現時点では特に問題はない。

収入について、「その他収入」の 4 つ目の項目「謎の振込」の確認を行った。今回調べた限りでは 2012 年からある個人の名義で毎年 6 月頃に、500 円～5000 円の幅で振り込まれている。過去の決算でどのように扱われているか確認したところ、2017 年度と 2018 年度は「謎の振込」という項目が立てられそこに計上されていた。今回もそれに倣い「謎の振込」とした。おそらく寄付と思われるが、賛助会費のようなルートからではなく直接の振込となっている。

若月 「謎の振込」というものを認識していなかったもので、後でどういった名義からの振込なのか確認したい。学連 OB の方も何名か参加されているが、詳細がわかる方はいるか。

遠藤 詳しいところは謎ではあるが、以前振込をされている方が所属するクラブを調べて

関係者に問い合わせたことがある。しかしその方はクラブ内でも久しく顔を出しておらず連絡も取れないらしく、真意は不明のままである。2016,7 年あたりの議事録に載っているかもしれない。

若月 今後の手続きは会計監査と幹事長の印鑑を押して総会に提出ということで間違いな
いか。

中野 そうです。

若月 では手続きは本幹事会終了後に行う。続けて決算報告をお願いします。

-2020 年度決算報告-

中野 昨年度の会計担当ではないが、私が作成を担当することになった。ただし、通帳の
入出金記録と整合が取れない箇所もあり、これが正しいのか核心は持てないというのが正
直なところである。

これがどのように作られたかという、前任の方が昨年 3 月 14 日付の中間報告を作成し
ていた。それを正しいものとし、そこに 3 月 14 日以降の入出金の記録を追加して作成した
のが今回の決算報告である。

若月 本来は昨年度の会計担当の仕事であるが、それを中野に引き継いでもらった形であ
る。この決算について監査からコメントを頂きたい。

衣笠 2020 年度の決算についてはこの表と通帳などを見比べて分からない部分がある。出
金は何に対応しているか不明な項目、決算表にはあるが出金記録がない項目などがたくさ
んあり、全容を把握しきれていない状況である。

若月 スムーズに引継ぎができていない部分もあり、昨年度の会計担当者にしか分からない
こともあるのかと思われる。当初の目的としては明日の総会で承認を得ようと思い本幹事
会の議題としたが、明日の総会で承認を得るのは無理があるだろう。会計のルール上今年
中の承認であるはずなので、前任の方に連絡が取れず困っているが、詳細を詰めていった
方がいいと思うがどうなのだろうか。

浴本 3 人で話し合いをしていて明日の総会で承認を得るのは無理だと感じている。我々
だけでは分からない点があるので、わかる人を含めた話し合いを行いたい。

若月 昨年度の幹事に連絡を取りつつ口座の入出金記録と対応させながら確定させる方向
で進みたい。

若月 この決算・中間報告について他に何か質問等はないようなので、総会に提出できる
レベルになるまで引き続き協議していきたい。

決算報告については明日の総会の議題からは撤回とする。

4. 新規地図作成事業第 9 弾茨城大大会の今後の展開

若月 -概要を説明-

概要 本来は2021年2月開催の予定だったが、昨今の情勢を受け現在もなお延期となっている。茨城大学オリエンテーリング部主催としての開催を大学当局から止められている一方で、部内の在籍状況を鑑みると現在4年生の代が卒業してしまうと開催が困難となってしまう。上記の相談を受け、組織体制を変更するに至った。その変更に対し承認を得たい。

変更点

- ・事業名 第3回茨城大学大会 → IOLD大会 in 湯ノ岳
- ・主催 茨城大学オリエンテーリング部 → 日本学生オリエンテーリング連盟
- ・主管 () → 茨城大学オリエンテーリング部

なお会計責任は茨城大学オリエンテーリング部が負うものとする。

変更にあたり開催地の福島県オリエンテーリング協会の手承を得ている。ただし誰が主催しているのかが地元に分かるようにしてほしいとの要望であった。そこで渉外部長の寺田を担当とし、今後のやり取りや開催前の現地挨拶を行う。

本事業の詳細や、本事業が適用される地図規則の別則については資料を参照されたい。

若月 質問等無いようなので、本議事の今後の進め方を確認する。本件に関わる窓口は寺田に担当してもらおう。また本事業が適用される「日本学生オリエンテーリング連盟の地図の作成および運用に関する規約（別則）」だが、2020年5月の総会で承認を得られて以降正式版がアップロードされていないことがわかった。体裁を整えて後程アップロードをお願いしたい。

5. 新規地図作成事業第11弾 矢板山田

山川 -概要を説明-

矢板山田は学連としては2013年が初出であり、120万円の予算で作成、初出の大会で250万円弱を売り上げた。11月開催の大会だったが、その年度内で1400枚以上の販売があった。全日本大会に向けてクローズとなる2016年5月までの間にトータルで70万円以上を売り上げている。しかし全日本準備時にトレイン内に大規模な林業造成がされていることがわかり、全日本大会でも使用されないまま本トレインの運用は塩漬けとなった。

昨年のミドルセレでトレインの復活を計画していたがコロナの影響で実現に至らなかった。最近になって会場の利用許可も得られたため、本事業を行うこととした。本来は作成する範囲を示して決済を得るものだが、今回の場合競技情報に関わってしまうためそれは難しい。そのため過去の売り上げ実績も参考に決済いただきたい。

今回の全面改訂に投資する額はこれまでの売り上げを下回る668,500円。ミドルセレで400人の利用があれば22万円の売り上げが出る。なお従来のセレでは学連料金350円+修

正予算を計上していたが、今回は新規地図事業のシステムを使うため初出地図費用の 550 円/枚となる。このことはセレ実行委員会の上承済みである。

また練習会等での売り上げを低めに見積もって 700 枚/年としても、初年度で 39 万円の売り上げが見込める。3 年目には全て回収して黒字となるだろう。

林業造成事業についても十分に年月が経過し、正しく調査すれば競技への影響はないレベルと言える。

若月 確認だが、今回の申請書では作成する範囲を示せないため、代わりに旧図を掲載しているということか。

山川 はい。正確な範囲は報告時に添付する。

遠藤 確認だが、本事業は着工済みということか。

山川 はい。コロナの影響もあり手続きを後回しにしている状態である。

遠藤 本来の手続きを今の幹事が把握できているのか心肺だったので確認したかった次第である。事業の妥当性については、山川さんは需要を理解しているしデータを持っているので心配はならず、真さを経ても申請を通すことになるだろう。それ自体はいいが、幹事の皆さんはそれがルールの中でどのフレームの中で行われていることなのかを把握しておいていただきたい。

若月 一部手続きが形骸化している部分もあると思う。

遠藤 山川さんはフットワーク軽く対応してくださる業者なので、妥当性を長い時間をかけて吟味するという現在の規約にそぐわない事業が出てきてしまうことは承知している。しかし過去にもバタバタと申請が来て、審査者が負担を被ったり十分に審査できないまま通さざるをえなかったりといったことが問題になっている。そこで 3,4 年前に議論して作ったのが現在の規約である。コロナという不確定要素はあるものの、このルールは大事な抛り所であるので意識いただきたい。具体的に言えば調査範囲を明示しないのは第 6 条の 2 にそぐわない。ただしそれは事情を鑑みて幹事会で認めるかどうか精査されるべきものである。原則と違うことをするには何かしらの理由が必要である、という視点は必要である。事業の妥当性に関しては業者側が情報を持つ部分であるが、手続きの監視については幹事会側でまじめにやっていただきたい。

若月 規約と照らし合わせて何か疑問点等あれば幹事から質問いただきたい。

金澤 修正の様式 2 「必要額の算出」について、5 万円の調整がされているのはどういった事情か。

山川 今はないがかつてはキリのいい数字にしようという考えだった。全面修正の場合は特に、修正の程度が影響して見積額と実態が合わないことが出てくる。私はこれを、セレ開催に必要な最低限の範囲に留めるなど、マイナス方向に使うこともありだと考えている。増やす方向は大変な議論が必要だが、減らす方向の議論は比較的容易だろう。

実態として伐採などで簡単に現地の状態は変化し、4 年もあれば地図は全く異なるものに

になってしまう。そのため正確な見積もりを出すのはますます難しくなっている。逆にこれ以上かかったらやめるくらいの予算を出しておいて、残った場合には減らすという事後審査のプロセスを取るのが良いのではないかと内心考えている。今回も60万円くらいまでは減らす可能性がある。減らす場合にも修正申告という枠組みの中でしっかりと説明をする。

金澤 質問の趣旨については理解した。

若月 今回のケースはセレクションに使う関係で地図範囲を公表ができない、かつ緊急性の高い事業という位置づけになるだろう。事業が完成した後に修正範囲を明示したうえでもう一度説明いただくという手続きになるだろう。

山川 はい。規則にのっとってどうかという遠藤氏の指摘は、こういった形での今後の運用例を作っていけばいいのではないかと考えている。

遠藤 今の説明で言えば、この事業は第6条5項の2にあたるものと説明できると思うが、この条文における「喫緊性の認められる必要最低限の地図修正事業」に該当するかは幹事会で審査しなければならない。そういった観点でチェックをすればエクセルシートの見方も変わるのではないかと、ということをお話の例を教材として勉強いただきたい。業者側が「喫緊性が高い。緊急だ」と言ってそれが押し通せてしまうのでは意味がない。本当は地図担当理事が学生にくぎを刺す立場としているはずだったが、そういうわけにもいかない状況なので今回オブザーバーとして言わせていただいた。事業審査は昔から幹事会であまり活発な議論にならないものだが、もっと質問や指摘があるべきところだと思うのでよろしくをお願いします。

山川 本当は私以外からも提案があればいいのだが。

遠藤 使う業者が偏ることで運用がなあなあになってしまうのは当たり前のことで、いろいろな業者あるいは大学クラブからの提案があつて初めてうまく運用できるものだと思う。このルールはそういったことを願って作ったという背景もあるが、結局山川氏提案のものが多いという現状は変わっていない。

若月 ほかに何か質問等はないか。

粟生 地図担当理事というのは今、ポストとしてはあるが本会議に参加していないということなのか。

遠藤 現在は空席だと思う。なぜ副責任者を設けたかといえば、審査の経験がない学生のみで判断をすることは難しく、何回かそういった経験を積んだ理事・OBが最終的な砦となるべきという考えに基づいている。しかし現状担当理事が不在なので、いないと気付いた時点で幹事会から理事会に問い合わせるなどしなければならない。

若月 ありがとうございます。本議題の周辺で把握できていない部分はいくつかあることが分かった。

ほかに質問等無いようなので、今後の確認をする。山川氏にはミドルセレ終了後に改めて

幹事会で確認いただくがよいか。

山川 大丈夫です。

若月 そのうえで今明らかになった問題、理事については自分から連絡をする。そのほか手続きについては適正かどうか幹事から投票で意思表示をいただく。この場での議論は以上とする。

6. 今後の幹事会の動き

若月 今後の定例幹事会だが、残りあと2回。第3回は1月中に対面開催、第4回は春インカレに併設または3月に開催したいと考えている。

本幹事会では挙げられていないが、規定類の整理は必要である。手続き的に形骸化している、Webに掲載されていないといった問題が生じている。来年度からスムーズに活動できるように整理したい。具体的には書式を揃える、改正に伴い生じた矛盾を解消する、改正時に編集可能なWordファイルを作成するといったことを12月中をめどに行いたい。そして2022年度からのスムーズな運用を目標に、今後の幹事会・総会で必要のある項目については改正を行いたい。

もう一点、これは本日の議題にあげようと考えていた後夜祭・講習会について。この2年間春インカレは中止されており、現時点で今年についても白紙である。事業部の管轄で事業部長の菊池と前任の谷野氏を中心に、関係者で議論をして今後も続けていけるようにしていただきたい。

また来年度の引継ぎに向けた準備として、規約や各部局の仕事について整理いただきたい。緊急対応に伴い通常のルーティンワークがうまくできていなかったと思うが、元の軌道に乗せられるようにしていただきたい。

7. 各部局活動報告

幹事長（若月） 3回の臨時幹事会、2回の臨時総会の準備。インカレ実行委員会およびUNIVASとの会議。

普及部（近藤） マナー教育の呼びかけ、インカレ観戦ガイドの作成。渉外問題事例集の作成を今後行う。

広報部（祖父江） 観戦ガイドの掲載。議事録の作成

事務局（金澤） 追加の学連登録（10人/月程度）、後援申請、JOAの後援申請の取次、日光矢板・椈の湖地区のトレイン利用申請の受付、賛助会員増加のプロジェクトにも参加

会計局（中野） JOAに加入日10万円、保険費3000円の支払い、インカレスプリントロング実行委員会に330万円の貸付、2020年度決算報告・2021年度中間報告の作成

8. 地区学連活動報告

関東 スプセレ、新人戦を開催、次回総会は12月16日の予定で来年の幹事への引継ぎ、

対抗戦について、ミドルセレ中止時の措置について検討する

北東 ミドルセレ中止時の対応決定、来年度役員の決定、セレクション開催の大学を決定する

北信越 ミドルセレ中止時の対応決定、引継ぎ資料の作成

東海 来年度の幹事決定、他学連とのセレ共催のため関西学連と規約の調整を実施。来年度のセレについて、スプリントロングは東海、ミドルは関西と決定

関西 WOC 出場選手の対応に伴う規約改正、セレクションの決算承認、ミセレの対応、来年度セレクションに向けた対応。今後は他学連とのセレ共催のための規約改正、第2回定例戦の開催、ミドルセレクション、春インカレに向けた実行委員会との連携

中九四 ロングセレ、スプセレを開催できなかったため、選手権出場者決定に関して規約の改正を実施した今後は地区学連総会を開催し来年度の幹事を決定する。ミドルセレクションの併催はできなかったが、東海関西セレの一般クラスに参加することでセレクションとすることになった。

若月 下の世代が少なく難しいところもあると思うが引き続き進めていただきたい。

9. 理事会報告

古谷 地図会計担当理事だが、曖昧になっている部分があるので私からも確認をする。

山川 コロナに伴う特別な渉外について。インカレロングやセレクションなど、特別な障害を行って開催にこぎつけている。金澤君や松本さんにも手伝っていただいているが、まだトレインを自由に選んで普通に練習できるような状態にはなっていないことを認識いただきたい。期日を守らない例も多く、障害対応の負担が増えている。期日を守らない事例については断ることにしている。地元の人と顔を合わせない場所でこっそり練習を行うか、丁寧な障害を行って堂々と開催するかの2択になっている。以上が基本理念である。

先日ロングを開催したトレインは練習で使用することができる。山リハで会場にした場所は民家がなく、ここを拠点に練習することを推奨している。民家に近いトレイン（矢板日新など）はあまり利用に賛同できない。

先述のトレインは、インカレ終了後5月までの間はクローズとし、ICM2019のミドルのコースのお披露目をしようと考えている。また2019年度2020年度のミドルセレ通過者内の順位付けも検討している。

谷野氏提案のロスジェネインカレの開催も可能だが、開催するかどうかは学連側で決めていただきたい。

谷野 テレイン利用の推奨・非推奨についてはHPに掲載した方がいいと思うので対応をお願いします。

若月 谷野さんからほかに何かありますか。

谷野 今のタスクとしては、UNIVAS 関係のやり取りおよび春インカレの映像や金銭関係について間に入れるようにする。

全員で対応する必要があるテーマについては、若月以外の人を中心に据えて分担してグループで進めていければ一人あたりの負担も減るし皆が関心を持てるのでいいと思う。

若月 本日の議題は以上である。